

たけガード工法(地表設置)手順

防竹(地表)用

防竹効果を最大限に発揮するには設置方法も重要です。



① 竹や雑木などを地際まで伐採

シートを敷設する前に、対象区域のタケを地際まで伐採してください。地際まで伐採していないとシートを破損する恐れがあります。また、タケの稈(かん)が長いと不陸が大きくなるため、可能な限り地際から伐採をお願いします。左記の画像のように、地際から3cm以下を目安に伐採してください。

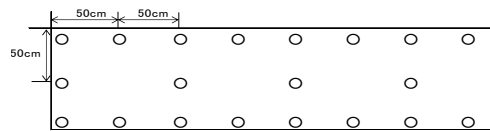


② たけガードシートを拡布し、アンカーピンで固定

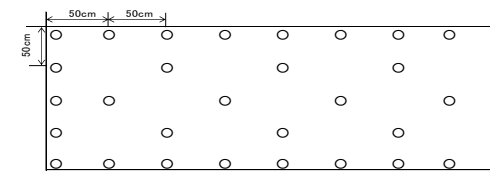
平面部のシート端部に50cm間隔、シート中央部は100cm間隔で、右方向または左方向に打ち込む向きを統一して、斜めに打ち込んでください(詳しくは、別紙の“たけガードアンカーの打設方法”をご参照ください)



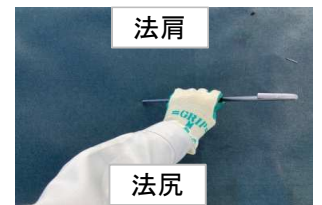
1.0m幅シートの場合



2.0m幅シートの場合



法面で打設する場合



たけガードアンカーを右方向または左方向に打ち込む向きを統一して、斜めに打ち込んでください(詳しくは、別紙の“たけガードアンカーの打設方法”をご参照ください)



打設イメージ
ピン頭部が地面と水平になるよう打設する

ピン打設方向

③ たけガードテープ ※ を固定ピンの頭部に貼付ける

たけガードテープ(□10cmにカット)をピン頭部に貼り付けます。ピン周りの砂埃をはらい、ピンの上から貼り付けてください。
この時、ピン頭部がテープの対角線上にくるよう、貼り付け位置調整して下さい。
四スミは砂埃がたまりやすいため、四スミから剥がれないようしっかりと押し付けてください。



ピン頭部の位置

④ シート端部、重ね部の接着処理

1. 設置部の砂埃はきれいに払ってください。
2. たけガードシートを10cm以上重ねて接着させてください。
3. アタッチをシートにねじ込ませるように手で押さえてください。アタッチはシート際からはみ出さないよう塗布してください。
4. たけガードテープをシートの重ね部分に貼り付けてください。



アタッチ塗布



たけガードテープ貼付

※端部処理後は剥離する可能性がある為、アタッチとたけガードテープの処理は最後の工程とし、作業後は施工面を歩かないようにしてください。施工面が乾燥しているのを確認して施工してください。(濡れていると接着不良の原因になります)

⑤ 完成

たけガードアンカーの打設ミスや、たけガードテープの貼り忘れが無いか確認し、問題が無ければ完成です。

※画像はイメージです。

